

## 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

- 分布回遊状況解析調査に基づく実用化試験 -

### 1. 今後の見通し

予測期間 2003年9月中旬から10月下旬までの旬別

対象海域 道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業 :さんま棒受網漁業

対象魚群 南下回遊群

#### 1) 道東海域

(1) 来遊量 : 9月中旬には中位から高位に増加し、9月下旬頃ピークに達する。10月上旬に減少傾向となり、10月中旬には急減、10月下旬には低位水準で推移する。

(2) 漁場 : 9月中旬～下旬には落石～釧路沖と襟裳岬沖に形成される。10月上旬からは襟裳岬周辺にも形成され、10月中旬以降は襟裳岬南沖が主漁場となる。

#### 2) 三陸海域

(1) 来遊量 : 9月中旬は低位水準で経過するが、9月下旬から急増する。10月上旬にピークに達し、10月中旬以降は減少傾向となる。

(2) 漁場 : 9月中旬には北部に形成される。9月下旬～10月上旬は北部から南部にかけて断続的に形成され、10月中旬以降は南偏傾向となる。

#### 3) 常磐海域

(1) 来遊量 : 9月下旬以降、低位水準ながら来遊がある。10月中旬には増加傾向となり、下旬は平年並みの水準で推移する。

(2) 漁場 : 9月下旬には常磐南部において断続的ながら形成される。10月中旬以降は、犬吠周辺にも形成される。

### 2. 予測の概要

| 海 域  |     | 9月中旬          | 9月下旬          | 10月上旬           | 10月中旬         | 10月下旬        |
|------|-----|---------------|---------------|-----------------|---------------|--------------|
| 道東海域 | 来遊量 |               |               |                 |               |              |
|      | 動向  | 中位増加          | 高位水準          | 高位低下            | 急減            | 低位水準         |
|      | 漁場  | 落石～釧路沖<br>襟裳沖 | 落石～釧路沖<br>襟裳沖 | 釧路～襟裳岬<br>周辺・沖合 | 襟裳岬南沖         | 襟裳岬南沖        |
| 三陸海域 | 来遊量 |               |               |                 |               |              |
|      | 動向  | 低位水準          | 急増            | 高位水準            | 高位低下          | 中位低下         |
|      | 漁場  | 北部            | 北部～南部         | 北部～南部           | 南偏傾向          | 南偏傾向         |
| 常磐海域 | 来遊量 |               |               |                 |               |              |
|      | 動向  |               | 断続的           | 低位水準            | 増加傾向          | 横這           |
|      | 漁場  |               | 常磐南部          | 常磐南部            | 常磐南部～犬吠<br>周辺 | 鹿島灘・犬吠周<br>辺 |

### 3. 漁況の経過概要

(8月下旬)

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

資源量指数から判断した来遊量の水準は、前年並みであり、1989年以降の過去14年間と比較すると平年並みの水準であった。また日別CPUEの推移によると、期前半よりも期後半の方が、来遊量が多くなった模様。

##### (2) 漁場

落石南40海里～落石南南東80海里付近では、期間中ほぼ連続して漁場が形成され、小型船の主漁場となった。漁場水温は9～12台と低く、群れは薄く、灯付きはやや良好～不良であった。釧路南南東120海里～襟裳岬南南東120海里付近では、期後半から大型船主体に漁場が形成された。この形成域は、北上暖水の東側に差し込む親潮の先端部分に位置する。親潮先端部分の表面水温15台の南西方向への差し込みが進行するに伴い、漁場も南西方向に移動し、28日には襟裳岬南南東120海里(40°15'～20' N・144°35'～45' E)付近にまで南下した。なおこの付近での漁場の形成は、平年よりも1ヶ月ほど早い。漁場水温は13～16台で、落石南の漁場よりも高い。

##### (3) 魚体

両漁場とも魚体は大4 - 中4 - 小2が主体であった。体長30～31cm、体重160～170gの大型魚が主体である。